

平成25年全国町村長大会 来賓挨拶

本日、全国町村長大会が開催されるにあたり、衆議院を代表し、一言ご挨拶を申し上げます。

まずはじめに、相次ぐ台風や豪雨などの自然災害により、お亡くなりになられた方々のご冥福をお祈りするとともに、被害にあわれた方々にお見舞いを申し上げます。また、災害対策の責任者として、救助、復旧活動にあられた皆さま方のご尽力に深く感謝申し上げます。

町や村の多くは、農山漁村地域にあり、国土の保全や自然環境の保護、地域文化の継承などの重要な役割を担っていますが、産業基盤が脆弱であり、過疎化や少子高齢化の進行に伴い、財政面において不安を抱えている自治体も少なくありません。こうした中で、福祉や医療、教育、環境対策など、住民生活に直結する多くの課題に取り組み、地域の活力を維持していくには、大変なご苦労があると思います。町村行政の先頭に立ち、不断の努力を続けられている皆さまに、心より敬意を表します。

平成五年に国会において「地方分権の推進に関する決議」がなされてから二十年が経過しました。国から地方への権限移譲が進み、地方行政の裁量が増すにつれ、地方自治体の役割は一段と大きくなっております。特に、住民に最も身近な自治体である町村は、地方行政の中心的な役割を担うものとして、それぞれの地域の特性を活かしつつ、健全な地方自治の発展と住民生活の向上に努めることが期待されています。

衆議院といたしましても、地方行政に携わる皆さまが主体的に魅力ある町づくり・村づくりに全力で取り組めるよう努めてまいり所存です。

最後に、本大会のご成功と皆さまの一層のご活躍をお祈りして、挨拶といたします。

平成25年11月20日

衆議院副議長

赤松 広隆